

こども新聞  
**週刊がほピョンプレス**  
 毎週日曜発行  
 2024 5/5  
 河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな  
**子ども**  
 だった!?

48

きょうのテーマ

バレーボール女子チーム、Vリーグ2部のリガール・仙台で活躍する鈴木音さん(20)は「チームのエース候補」と将来を期待されるアタッカーなんだ。「心の底から楽しんでる時が一番強い」。スポーツ少年団や部活動で培った信条を、今も大切にしているよ。

◇

高校時代にバレーボールをやっていた父の影響で、幼い頃からバレーボールに親しんできました。



鈴木 音さん(20歳・バレーボール選手)

すずき・のん 2004年仙台市生まれ。仙台商高卒。22年4月、リガール仙台に入団。身長171センチ、最高到達(とうたつ)点289センチ。Vリーグ2部の2023-24シーズンは、ウイングスパイカーとして全18試合に出場した。

上手になっていく自分にワクワクすることが、楽しむってこと。現状に満足せず、新しいことに挑戦する姿勢も大切にしています。

小学3年になり、1歳の年の姉が所属していた仙台市内のスポーツ少年団に入り、本格的に取り組み始めました。「将来はバレーボール選手になりたい」と、ぼんやりと思うようになったのもこ

中学時代に、忘れられ



の頃からです。小学校を卒業した後も部活動で続け、中学と高校はキャプテンを務めました。

ない試合があります。中総体で、上手で有名な選手がいた学校と対戦したときのことで。1セット目を取られました。私が、私も他のメンバーも楽しんでプレーができ、最後は逆転勝ち。「苦しい試合」かなわない相手」と弱気にならずに、楽しむことが大事と考えるようになりました。

高校時代はけがをした

そんなときこそ、課題が見つかるもの。先輩や指導者にアドバイスをもらい、上達するチャンスです。ずっと同じままだったら、つまらないじゃないですか。

私は今も、バレーボールを楽しんでいます。私がプレーする姿を見てもらうことで、バレーボールの楽しさを多くの人に伝えていきたいです。

り、新型コロナウイルスの影響で一部の大会が中止になったりして、不完全燃焼に終わりました。「バレーボールじゃない道を選んだら後悔する」と思い、働きながら選手として競技を続ける道を選びました。



プレッシャーを感じにくい通りのプレーができなかったり、試合に負けて悔しい思いをしたり、時には楽しんでプレーできないこともあります。

姉を追い本格的にプレー

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇8日(水) 世界赤十字デー  
 赤十字社の創設者アンリ・デュナンの誕生日に由来。デュナンは敵味方なく戦争の負傷者を助けるため、国際的な団体の設立を訴えました。現在191の国・地域で医療支援や社会福祉事業などを行っています。

この日の紙面

- 2面 からだ×うんどう×けんこう
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー